



TITLE:

第2回オープンアクセス研修会 「研究成果を世界に発信！」(発表スライド)

AUTHOR(S):

CITATION:

第2回オープンアクセス研修会 「研究成果を世界に発信！」. 2016

ISSUE DATE:

2016-10-27

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/217339>

RIGHT:

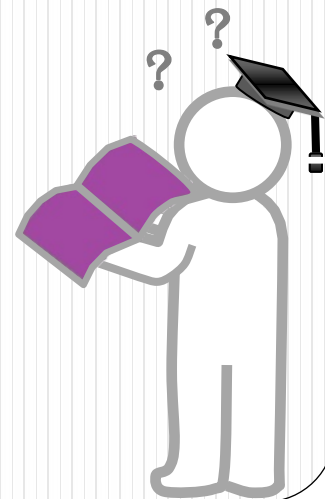
第2回オープンアクセス研修会

主催：北部構内事務部 教務・図書課

共通図書掛 野間口・由本・福田

日時：平成28年度10月27日（木）

16：30～17：30



本日の内容

- オープンアクセスとは
- オープンアクセスへの歴史
- 購読型電子ジャーナルとオープンアクセス
- 京都大学学術情報リポジトリ
- 京都大学オープンアクセス方針 **教員向け**
- リポジトリ登録システム **教員向け**
- APCについて **教員向け**
- 博士論文と著作権

オープンアクセス（OA）とは

『学術論文に対して

誰もがインターネットを介して無料で

アクセスして利用できるようにすること』



オープンアクセスにするメリット

- インターネット上で全世界の人に無料で論文を読んでもらうことができます
- 論文が引用される可能性が高まります
- 研究成果を社会に還元できます
- 自分の論文をいつでも確認することができます

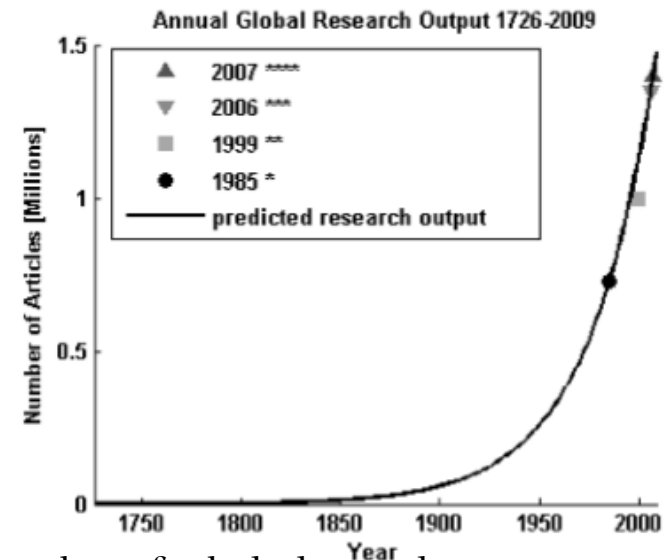



CC-BY Danny Kingsley & Sarah Brown

<http://ji.sc/2bY1LKQ>

オープンアクセスへの歴史 (1)

- 世界初の学術論文誌 「Philosophical Transactions」
1665年～
- 研究における論文の重要性の上昇
Work, Finish, Publish (Michael Faraday [1791-1867])
- シリアルズ・クライシス 1970年代～1990年代
 - 論文数の激増
 - 雑誌価格の高騰
 - 一部の商業出版社の寡占
 - 雑誌購読タイトルの減少
 - 購読機関の減少



オープンアクセスへの歴史（2）

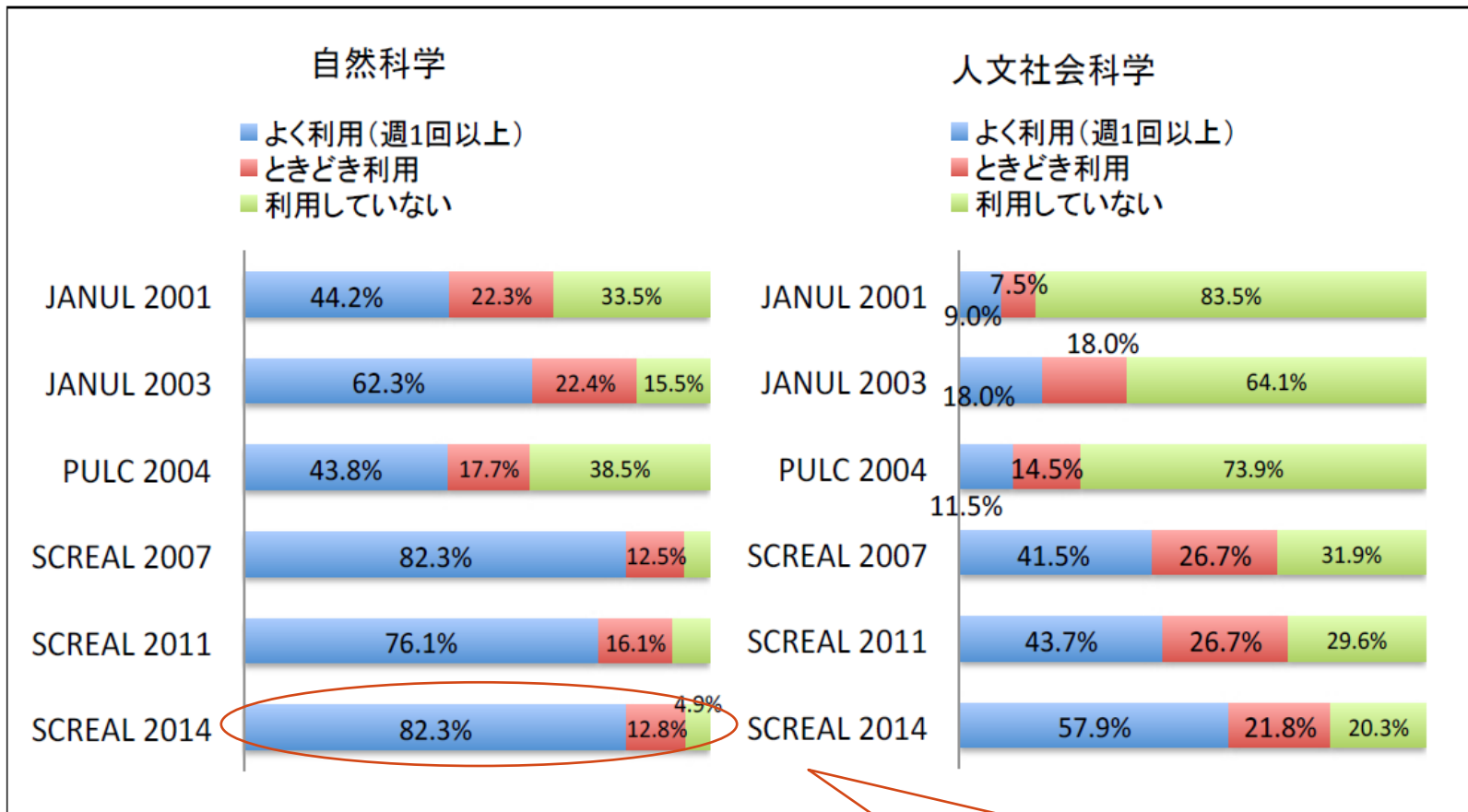
- 電子ジャーナルの普及

Elsevier社「SD-21」展開1999年～

- 電子ジャーナルの利便性向上

- 学内からネットワーク経由で24時間利用可能
- 同時に同じ雑誌を複数の人が読める
- 冊子体より早く記事・論文を入手できる
- 優れた検索機能
- リンク機能などの活用

オープンアクセスへの歴史 (3)



2014年SCREAL調査結果速報

http://www.screal.jp/2014/20151016_SCREAL_first_release.pdf

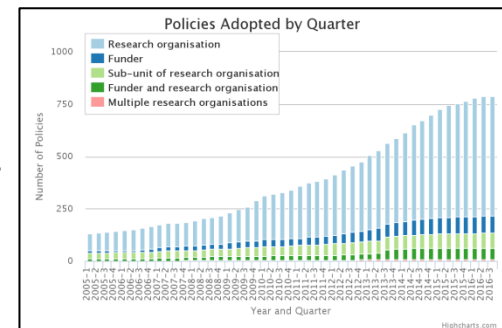
95%以上が
月1回以上利用

オープンアクセスへの歴史（４）

- **ブタペスト・オープンアクセス・イニシアティブ**
(2002年) 今後すべてのピアレビューされた研究成果へのオープンアクセス(OA)を求める世界的運動
- 助成金を提供する機関・大学がOAを条件・推奨に
 - 米国：国立衛生研究所助成成果をOAジャーナル, 機関リポジトリのどちらかで公開（2008年）
 - EU：2020年までに全ての公的資金による学術出版物OAに合意（2016）
 - 日本：学位論文のリポジトリ登録義務化（2013年）
JSPS・JST・内閣府など
OAに関する施策推進

The Registry of Open Access Repository Mandates and Policies

<https://roarmap.eprints.org/>



購読型電子ジャーナルとOA

- **購読型電子ジャーナル**

大学,図書館等が購読するクロードアクセスモデル
(従来型)

- **ゴールドOA**

著者支払 (APC) ・ 読者無料型モデル,著者選択支払・部分的オープンアクセス・ジャーナル (ハイブリッドモデル) など刊行後即座にOAになるモデル

- **グリーンOA**

大学等が構築・運用する**機関リポジトリ**等で論文をOAにするモデル

公開開始時期指定 (エンバーゴ) や出版される版と同じ版面が使えない (**著者稿**) などの条件

京都大学学術情報リポジトリ

- 2006年10月運用開始。14万件以上の本文データが閲覧可能国内最大規模の機関リポジトリ
- 京都大学所属者は、京都大学学術情報リポジトリKURENAIに論文を登録することができます
- 著者の金銭的負担はありません



<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp>

京都大学学術情報リポジトリ

京都大学 | 図書館情報

Search Custom Search

> ホーム

ブラウザ

- > 研究科等一覧
- > タイトル
- > 著者
- > 日付
- > アクセランシング
- > アクセス統計

京都大学発行
電子ジャーナル

京都大学
学位論文

KURENAI
Update!

京都大学
KYOTO UNIVERSITY

京都大学図書館機構
The University Library Group

Kyoto University Press
京都大学出版会

Kyoto University Research Information Repository >

京都大学リポジトリ (KURENAI) では、オープンアクセスを推進するプラットフォームとして、京都大学より創造される研究・教育成果(学術雑誌掲載論文、学位論文、紀要論文など)をインターネット上で公開しています。

2016年3月末現在 ●収録論文 14万1千件 ●紀要 約200誌 ●論文ダウンロード 391万件以上(2015年度)

リポジトリ登録システムの移行について (2016/03/24)

京都大学学術情報リポジトリKURENAIで公開している博士学位論文にDOIを付与します (2015/12/22)

「京都大学オープンアクセス方針」を採択しました! (2015/05/07)

学術情報リポジトリKURENAIのアイテム詳細画面・著者名から、京都大学教育研究活動データベースの研究者情報を参照できるリンクが表示されるようになりました (2015/03/05)

KURENAI update! @KURENAI_update

ES細胞と遺伝子ネットワークを用いた、高精度の化合物毒性予測システムの構築 kyoto-u.ac.jp/ja/research/re... 藤沢航 教授らの論文を京都大学学術情報リポジトリKURENAIで公開 hdl.handle.net/2433/215069

KURENAI update! @KURENAI_update

タンパク質の立体構造上の変異解析により治療標的となり得るがん遺伝子を検出 kyoto-u.ac.jp/ja/research/re... 藤本明洋 特定准教授らの論文を京都大学学術情報リポジトリKURENAIで公開 hdl.handle.net/2433/214349

登録手順

リポジトリ登録システム

▼学術情報リポジトリKURENAIに登録するための著作権

▼KURENAIによるセルフアーカイブ

▼オープンアクセスとは

山中伸弥教授
を導く「医学賞」
Key publication
「Nature」

益川名譽教授
ノーベル物理学賞
受賞論文

京都大学学術出版会
京都大学学術情報リポジトリ

Contemporary
and
Applied Philosophy

京都大学学術情報リポジトリ
総合案内(旧)

DSpace Memo

RSSフィード

研究科等一覧

下記のリンクより学位論文および研究科等で発行する学術雑誌や紀要にアクセスできます。

- 001 総長
- 002 学位論文
- 003 科研費報告書
- 005 京都大学学術出版会
- 007 京都大学に基盤のある学会・研究会
- 008 日本動物学会
- 010 文学研究科・文学部
- 020 教育学研究科・教育学部
- 030 法学研究科・法学部
- 040 経済学研究科・経済学部
- 050 理学研究科・理学部
- 060 医学研究科・医学部・医療技術短期大学部
- 080 薬学研究科・薬学部
- 090 工学研究科・工学部
- 100 農学研究科・農学部
- 110 人間・環境学研究科・総合人間学部
- 120 エネルギー科学研究科
- 130 アジア・アフリカ地域研究研究科

リポジトリ登録件数 (2016年9月末日現在)


農学	1,820件
理学	6,150件
数研	31,014件
基礎研	12,591件
フィールド	2,643件
数研	が学内部局最多

KURENAI活用の事例


● 研究成果公開（京大ホームページ）

書誌情報

【DOI】

 <http://dx.doi.org/10.1093/dnares/dsw037>

【KURENAIアクセスURL】

 <http://hdl.handle.net/2433/216250>

Yasuo Yasui, Hideki Hirakawa, Tetsuo Oikawa, Masami Toyoshima, Chiaki Matsuzaki, Mariko Ueno, Nobuyuki Mizuno, Yukari Nagatoshi, Tomohiro Imamura, Manami Miyago, Kojiro Tanaka, Kazuyuki Mise, Tsutomu Tanaka, Hiroharu Mizukoshi, Masashi Mori and Yasunari Fujita. (2016). Draft genome sequence of an inbred line of *Chenopodium quinoa*, an allotetraploid crop with great environmental adaptability and outstanding nutritional properties. DNA Research.

- 産経新聞（8月25日 1面）、日刊工業新聞（8月2日 22面）に掲載されました。

KURENAI活用の事例


● CiNii等二次文献データベース連携

















CiNii 日本の論文をさがす 大学図書館の本をさがす 日本の博士論文をさがす

論文検索 著者検索 全文検索



Yasui Yasui 検索

すべて CiNiiに本文あり CiNiiに本文あり・連携サービスへのリンクあり 詳細検索



 Draft genome sequence of an inbred line of *Chenopodium quinoa*, an allotetraploid crop with great environmental adaptability and outstanding nutritional properties

 Yasui Yasui	 Hirakawa Hideki	 Oikawa Tetsuo	 Toyoshima Masami	 Matsuzaki Chiaki
 Ueno Mariko	 Mizuno Nobuyuki	 Nagatoshi Yukari	 Imanura Tomohiro	 Miyago Manami
 Tanaka Kojiro	 Mise Kazuyuki	 Tanaka Tsutomu	 Mizukoshi Hironaru	 Mori Masashi
 Fujita Yasunari				

この論文にアクセスする

 機関リポジトリ  CrossRef

この論文をさがす

 京大ArticleLinker  京大RefWorks(論文情報を取込む)

抄録

キヌアのゲノム配列の解読に世界で初めて成功。優れた環境適応性や栄養特性の謎を解き活用への道を切り拓く。京都大学プレスリリース。2016-08-08. *Chenopodium quinoa* Willd. (quinoa) originated from the Andean region as a pseudocereal crop of the Amaranthaceae family. Quinoa is emerging as an important crop with the potential to contribute to food security worldwide and is considered to be an optimal food source for astronauts, due to its

京都大学オープンアクセス方針

- 2015年4月28日に「京都大学オープンアクセス方針」が役員会で承認され、採択されました。これは、京都大学の教員が生み出した学術論文等の研究成果を、「京都大学学術情報リポジトリKURENAI」によりインターネット上で原則公開することを定めたものです

京都大学 Kyoto University
オープンアクセス方針
Open Access Policy

京都大学オープンアクセス方針（1）

- （趣旨）

京都大学は、本学に在席する教員によって得られた研究成果に対する学内外からの自由な閲覧を保証することにより、学術研究のさらなる発展に寄与するとともに、情報公開の推進と社会に対する説明責任を果たすために、オープンアクセスに関する方針を以下のように定めるものとする

京都大学オープンアクセス方針（2）

- （研究成果公開の権限）

京都大学は、出版社、学会、学内部局等が発行した学術雑誌（図書等を除く）に掲載された教員の研究成果を、京都大学学術情報リポジトリによって公開する

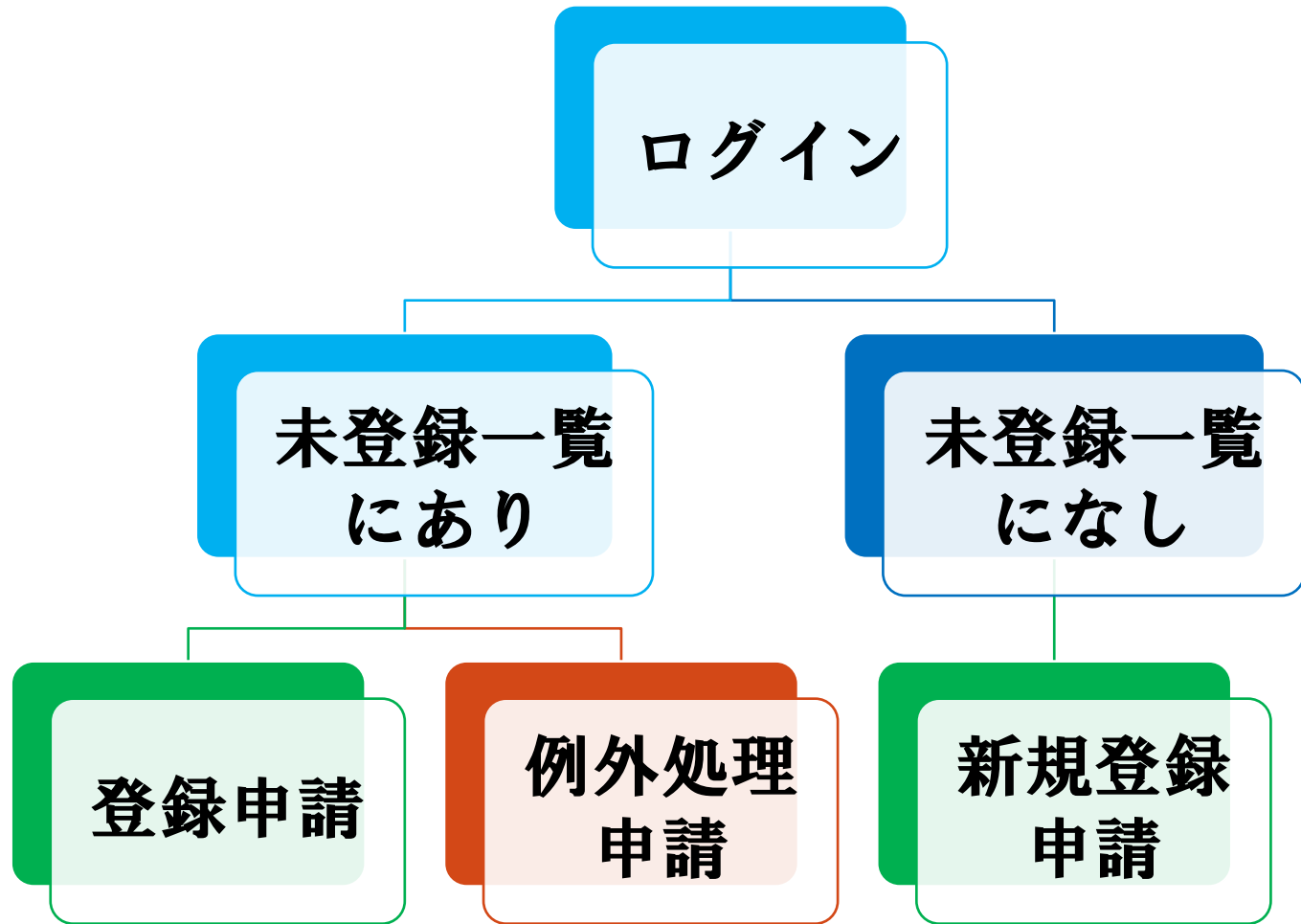
リポジトリ登録システム

- リポジトリ登録システムとは、オープンアクセス方針の対象となる論文を京都大学学術情報リポジトリKURENAIに登録申請するためのシステムです
- 研究者データベースresearchmapや抄録・引用文献データベースScopusからデータを取得しています



<https://openaccess.kulib.kyoto-u.ac.jp/researcher/>

リポジトリ登録システム：手順の流れ



リポジトリ登録システム：登録申請の方法

- 未登録一覧から選んで登録申請
→ 論文情報の入力**不要**
- 未登録一覧になしで新規登録申請
→ 論文情報の入力**必要**

リポジトリ登録システム：ログイン

- <https://openaccess.kulib.kyoto-u.ac.jp/researcher/>
- KURENAI トップページ→リポジトリ登録システム
→ 1. ログイン
- 図書館機構 トップページ→オープンアクセス
→リポジトリ登録システム→1. ログイン

京都大学学術情報リポジトリ KURENAI 紅
Kyoto University Research Information Repository

京都大学 | 図書館機構

Kyoto University Research Information Repository >

京都大学 Kyoto University
オープンアクセス方針
Open Access Policy

科研費 科研費
論文の
オープンアクセス化
を進めよう

登録手順 [学内の方へ、研究・
教育成果を登録する]

リポジトリ登録
システム

京都大学学術情報リポジトリ KURENAI 紅
植物と根粒菌の主従逆転-根粒菌がシベリンを合成し、
宿主の根粒数を制御する仕組みを発見- kyoto-
u.ac.jp/ja/research/re... 植田充美 教授らの論文を京都大
学学術情報リポジトリKURENAIで公開
hdl.handle.net/2433/215071

KURENAI update! @KURENAI_update
植物と根粒菌の主従逆転-根粒菌がシベリンを合成し、
宿主の根粒数を制御する仕組みを発見- kyoto-
u.ac.jp/ja/research/re... 植田充美 教授らの論文を京都大
学学術情報リポジトリKURENAIで公開
hdl.handle.net/2433/215071

KURENAI update! @KURENAI_update
ES細胞と遺伝子ネットワークを用いた、高精度の化合物毒
性予測システムの構築 kyoto-u.ac.jp/ja/research/re... 藤

京都大学図書館機構
The Kyoto University Library Network

HOME 資料検索 オープンアクセス 学富研究サポート 特殊コレクション サービス 図書館・室一覧 図書館について

本や雑誌・論文を探す

京都大学所蔵資料

電子ジャーナル/電子ブック

論文/データベース

貴重資料画像

電子リソースへのアクセスの認証

学外からアクセス

文献管理ツール

オンラインで申し込む

オンラインサービス利用案内

貸出更新・予約

他大学訪問利用

図書館入館希望(学生用)

追和開館日お知らせメール

本やコピーのお取り寄せ

新着図書・雑誌アラート

貸出履歴参照サービス

蔵書検索 論文検索 蔵書・論文+ 電子ジャーナル/ブック データベース MyKULINE KURENAI

図書・雑誌・電子ジャーナル・電子ブック・貴重書・学位論文を検索できます。

Example: #科学, ecolog*, 海川*発行, ...

KULINE 詳細検索 (学内からアクセス出来ない場合の設定確認、推奨ブラウザ)

KULINE 休止中に京都大学の蔵書を検索するには

総合利用案内

図書館・室一覧

オープンアクセス

KURENAI 紅
機関リポジトリ

リポジトリ登録システム：登録申請

論文登録システム(KURENAI Deposit System) (京大太郎 さんの代行中(By proxy for Dr. Taro, Kyodai)) 代行(Manage data by proxy) 代理入力者登録・削除(Allow others to manage your data.) Logout ?

京大太郎

新規登録(new) ▾

未登録 - Unregistered

依頼日時 Request	DOI DOI	タイトル Title	ジャーナル名 Journal	出版社 Publisher	著者 Author	状態 Status	
	10.1241/johokanri.58.8	研究資金獲得支援における情報の収集・提供・分析	情報管理		京大 太郎, 京大 花子	処理中(In progress)	申請 (Apply)
		Test Data With Subscript H₂O and Superscript Cl			京大 太郎	処理中(In progress)	申請 (Apply)
2016/03/10 13:57	10.1109/IIAI-AAI.2015.16	Researcher Grant Need	In Proceedings of 4th International Congress on Advanced Applied Informatics (IIAI-AAI 2015), Okayama, Japan		Taro, Kyodai, Ichiro Yamamoto	処理中(In progress)	申請 (Apply)

共著者処理中 - In Process (Co-author)

依頼教員 Author in charge	DOI DOI

図書館代行中 - In Process (Library)

DOI DOI	タイトル Title	ジャーナル名 Journal	出版社 Publisher	著者 Author

完了済 - Registered in KURENAI

依頼教員 Author in charge	KURENAIハンドル URL	DOI DOI	タイトル Title	ジャーナル名 Journal	出版社 Publisher	著者 Author	
京大 太郎	適用例外 出版社の許諾を得られませんでした。		test2			京大 太郎	詳細 (Detail)

未登録一覧から登録する論文を選択し、
「申請」ボタンをクリック

リポジトリ登録システム：論文詳細画面

論文登録システム(KURENAI Deposit System)

代理入力者登録・削除(Allow others to manage your data.) Logout ?

代行(Manage data by proxy)

論文「凝集的な企業間ネットワークが発展させた映画製作の実践共同体：製作委員会方式による日本映画ビジネスの再生」

論文ID PaperID	15540
取込日時 Input	2016/03/17 12:12
DOI DOI	
ジャーナル名 Journal	組織科学
出版社 Publisher	
タイトル Title	凝集的な企業間ネットワークが発展させた映画製作の実践共同体：製作委員会方式による日本映画ビジネスの再生
著者 Author	若林直樹, 山下勝, 山田仁一郎
許諾条件 Self-archiving policy	版: 著者稿 公開種別: 即時公開 Ver.: Accepted Author Manuscript Immediate release

問い合わせ
Inquiries

問い合わせ (Compose a new message)

登録申請(Deposit) 適用例外(Opted-out) 一覧画面に戻る(Back to the list)

自分の論文でない(The data is not mine) すでに処理済です(The same data exists)

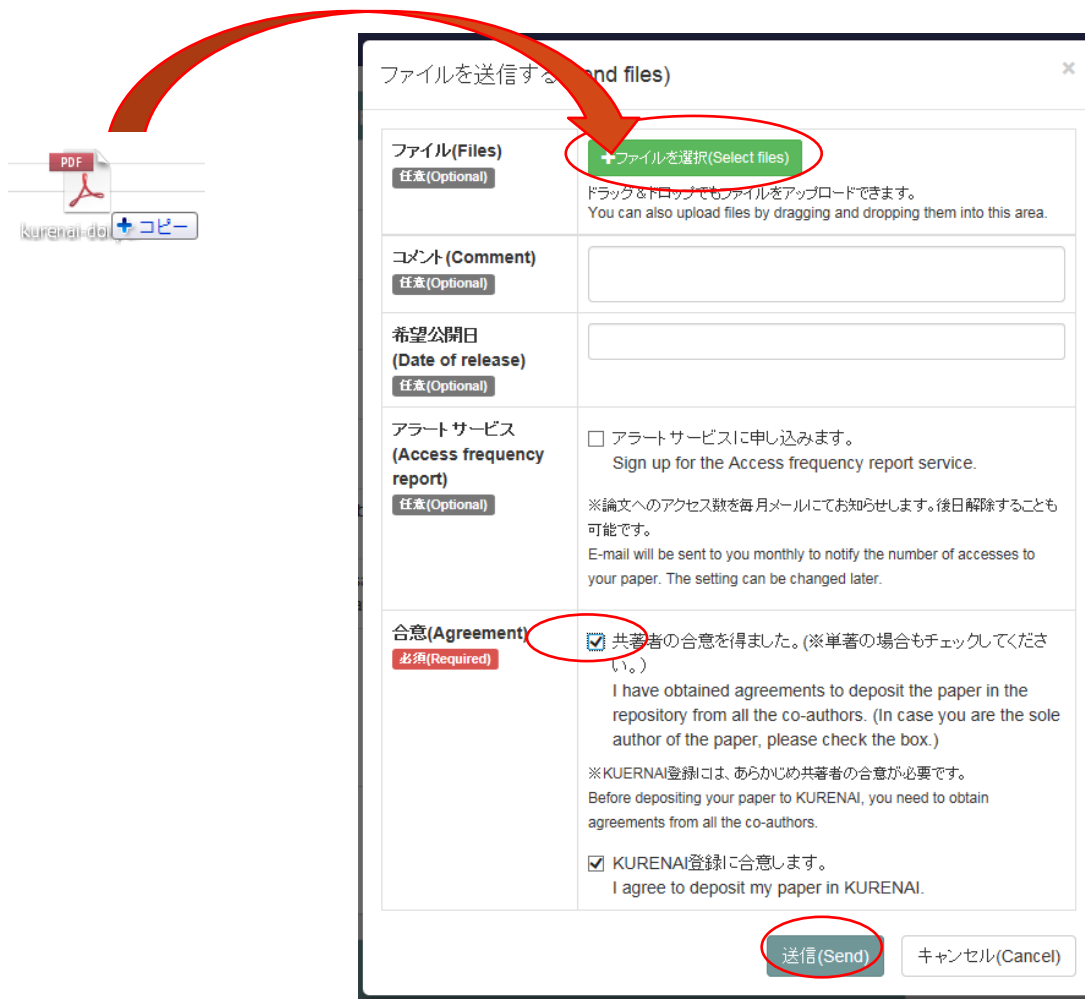
書誌情報
Bibliographic Information

出版社版DOI DOI	
ISSN	

論文の内容を確認し、
「登録申請」ボタン
をクリック

※特に「許諾条件」
にご注意ください

リポジトリ登録システム：論文詳細画面



ファイルを送信する (Upload files)

ファイル (Files)
任意 (Optional)

+ ファイルを選択 (Select files)

ドラッグ&ドロップでもファイルをアップロードできます。
You can also upload files by dragging and dropping them into this area.

コメント (Comment)
任意 (Optional)

希望公開日
(Date of release)
任意 (Optional)

アラートサービス
(Access frequency report)
任意 (Optional)

☐ アラートサービスに申し込みます。
Sign up for the Access frequency report service.

※論文へのアクセス数を毎月メールにてお知らせします。後日解除することも可能です。
E-mail will be sent to you monthly to notify the number of accesses to your paper. The setting can be changed later.

合意 (Agreement)
必須 (Required)

☒ 共著者の合意を得ました。(※単著の場合もチェックしてください。)
I have obtained agreements to deposit the paper in the repository from all the co-authors. (In case you are the sole author of the paper, please check the box.)

※KUERNAL登録には、あらかじめ共著者の合意が必要です。
Before depositing your paper to KURENAI, you need to obtain agreements from all the co-authors.

☒ KURENAI登録に同意します。
I agree to deposit my paper in KURENAI.

送信 (Send) キャンセル (Cancel)

リポジトリ登録システム：著者稿とは

プレプリント

- ・ 査読前
- ・ 投稿システムで出版社に送った版

Elsevier社の定義による
<http://jp.elsevier.com/authors/author-rights-and-responsibilities>

著者稿

- ・ 査読後
- ・ 掲載を許可された時点の論文原稿
- ・ 投稿, 査読, 編集者とのやり取りを通じて著者の変更が含まれる
- ・ 校正刷以前のバージョン

出版社稿

- ・ 発行版
- ・ 出版社レイアウト版
- ・ 編集, 書式, ページ番号付与など出版社によるすべての作業を終えている

リポジトリ登録システム：著作権

- 共著者がいる場合、**共著者全員の合意**が必要です
執筆中に共著者の合意を得ることをお薦めいたします
- 教員の皆様の論文は基本的に、図書館が出版社のポリシーの確認をおこなったうえで論文を公開します
- クリエイティブ・コモンズ・ライセンス



オープンアクセス方針が承認された日以降に発行された論文で

CC-BYなど共有・再配布が許可されている場合、図書館側で確認とれ次第、KURENAIに登録する場合があります

リポジトリ登録システム：適用例外申請

- 研究成果のKURENAIによる公開が不適切であると教員が判断した場合、「**適用例外申請**」をお願いいたします

論文登録システム(KURENAI Deposit System)

論文「OVOL2 Maintains the Transcriptional Program of Human Corneal Epithelium by Suppressing Epithelial-to-Mesenchymal Transition」

論文ID PaperID	33312
取込日時 Input	2016/06/14 13:41
DOI DOI	
ジャーナル名 Journal	Cell Reports
出版社 Publisher	Elsevier BV
タイトル Title	OVOL2 Maintains the Transcriptional Program of Human Corneal Epithelium by Suppressing Epithelial-to-Mesenchymal Transition
著者 Author	Koji Kitazawa, Takafusa Hikichi, Takahiro Nakamura, Kanae Mitsunaga, Azusa Tanaka, Masahiro Nakamura, Tatsuya Yamakawa, Shiori Furukawa, Mieko Takasaka, Naoki Goshima, Akira Watanabe, Keisuke Okita, Satoshi Kawasaki, Morio Ueno, Shigeru Kinoshita, Shinji Masui
許諾条件 Self-archiving policy	版: 不明 公開種別: 図書館確認中 Ver.: Unknown Policy check in progress

登録申請(Deposit) **適用例外(Opted-out)** 一覧画面に戻る(Back to the list)

自分の論文でない(This is not mine)

リポジトリ登録システム：入力者・代行申請

- SPS-IDをお持ちの教職員はリポジトリ登録システムにご利用いただけます
- また,登録申請代行依頼者（著者）が代理入力者を登録し,代理入力者が登録申請を代行することもできます
- 教育研究活動データベースとの連携も進めています

APC : APC割引情報

- APC : Article Processing Charge

オープンアクセス掲載にあたり著者が負担する論文投稿料のこと

- 1研究者あたりの平均支払額

166,433円/年間（平成24年度国立大学図書館協会）

- 本学所属者向け割引情報

<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/content0/13089>

「オープンアクセス誌投稿料の割引情報について」 /

図書館機構HP→オープンアクセス

APC：コストの問題

- APC本学支払推算額（DB情報より算出）

2013年 5,000万円

2014年 6,700万円

- 増大する学術情報の受発信コスト

雑誌購読費＋従来からある投稿料＋

カラーチャージ ... + APC

- APC費用把握の必要性

実態を把握し、出版社との交渉根拠とします



APCを含む論文投稿料を 財会システムに入力する場合の注意点

- ・ 摘要欄に、以下の情報の入力をお願いします

論文投稿料 雑誌名, 出版者名 (取引先)



入力例：論文投稿料 Nature Commn., Nature Pub. Group

APC：財務会計システム入力例

PeopleSoft.

ホーム お気に入り追加 サイアウト

新規ウィンドウ

メニュー

- お気に入り
- 経理業務
- 執行業務
- 出納業務
- 資産管理業務
- PeopleTools
- 購入依頼即法議登録
- 科研費依頼即法議登録
- お知らせ

基本情報 付属情報 詳細情報 確定情報 検収情報

ビジネスユニット: 0100 農学研究科・農学部 案件番号: NEXT *契約形態: 1 通常契約 ☐ 変更契約

納入場所: 農学部総合館 北*~元ユニット: 単価テンプレートユニット:

摘要: 論文投稿料 Nature Communications, Nature Pub. 北*~元番号: 単価テンプレート番号:

見積番号:

税込総額: 150,000

税抜総額: 150,000 消費税:

特記事項:

保存 追加 更新/表示

基本情報 | 付属情報 | 詳細情報 | 確定情報 | 検収情報

摘要欄：論文投稿料
Nature Communications, Nature Pub.

APC：立替払請求書の記入例

立替払請求書

予算責任者

北 白川子 **北**

金 159,600 円

但し,論文投稿料...として

1,400ドル (1ドル114円)



Plant Signaling & Behavior,
雑誌名

T & F
出版社(取引先名)

別紙領収書のとおり支払いましたので,請求します。

平成28年10月27日
京都大学学長 殿

予算情報

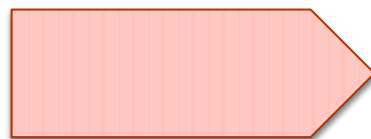
請求者 京都大学農学研究科
北 白川子 **北**

博士論文のインターネット公表

(平成25年4月～)



印刷公表



京都大学学術情報リポジトリ
KURENAI 紅
Kyoto University Research Information Repository

インターネット公表

- 知的財産権（著作権や特許権等）の権利処理等やむを得ない事由がある場合は、一定期間全文公表に変えて要約公表とできる

著作権一覧

A. 著作者人格権

- 公表権,氏名表示権,同一性保持権

B. 著作権（財産権）

- **複製権**,上演権・演奏権,上映権,**公衆送信権**・**公の伝達権**,口述権,展示権,頒布権,譲渡権,貸与権,翻訳権・翻案権など二次的著作物の利用権

論文執筆中に...

- **共同研究の場合**
 - 共同研究者全員に「学位申請」及び「インターネット公開」について事前許諾をとる
- **雑誌投稿する場合**
 - 投稿規定・著作権規定・許諾契約書・Licence agreement等により,博士論文として使用が許可されているか,許諾申請が必要か確認
- **引用と転載**
 - 「引用」の範囲を超えるようであれば,著作権者の許諾が必要

学位審査通りました！



雑誌に投稿中（投稿予定）

- 「やむを得ない事由」があると申請し、全文公表は行わない
 - 公表すると、二重投稿と判断されることも
- リポジトリでは全文の代替として、論文の**要約**を公開
- 「やむを得ない事由」がなくなった時、リポジトリに全文公開

※要約：全文に代わり内容をまとめたもの。一般的には、要旨よりも詳細。各研究科、専攻で定められた方法に従い作成。

出版済みの場合

- インターネット公表について以下の点を確認
 - リポジトリに登録可能な版はどれか
(プレプリントか, 著者稿か, 出版社稿か)
 - いつから登録可能か
(論文発行後1年後など)
 - その他, 公表の条件

出版社ポリシー例

- **Science**

○ Author's Pre-print ○ Author's Post-print
✗ Publisher's Version/PDF

- **Nature**

○ Author's Pre-print
○ Author's Post-print (6 months embargo)
✗ Publisher's Version/PDF

- **PNAS**

○ Author's Pre-print ○ Author's Post-print
○ Publisher's Version/PDF

「登録可能な版」の確認

- 公開データは、学位審査対象となった論文と同一版面であること

Case1

Scienceの場合

○ Author's Post-print ✕ Publisher's Version/PDF

学位審査が著者最終稿で行われた場合

→ ○ リポジトリに全文公表可能

学位審査が出版社稿で行われた場合

→ ✕ リポジトリは要約公表

全文公表可能日の確認

- 学位授与日から一年以内に全文を公表する必要あり

Case2

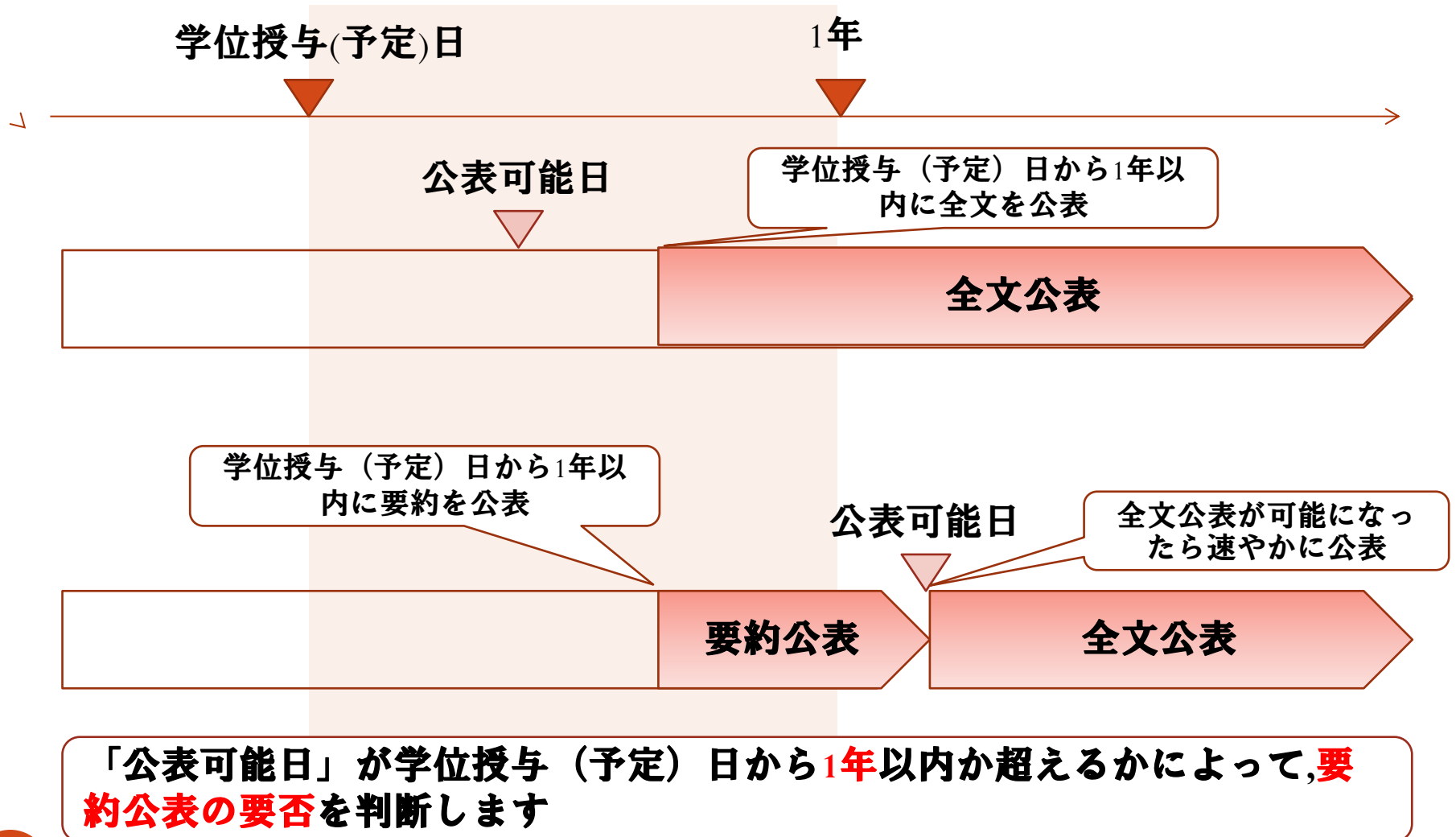
Nature ○ Author's Post-print(6 months embargo)

著者最終稿で学位審査

2016年3月学位授与日

- 2016年5月出版の場合, 11月に公表可
→ 全文公表可能になったら, 全文を公表
- 2016年11月出版の場合, 2017年5月に公表可
→ 全文公表可能な時期まで, 要約を公表

全文公表可能日について



その他,公表条件

- 権利や出典,出版者へのリンクの表示が求められている場合
 - 論文冊子に上記情報が含まれない場合,論文データの巻頭または巻末に別頁として追加
- 許諾申請が免除されているかどうか
 - 出版社ポリシーで公開が認められていても,許諾申請が必要な場合も。申請免除の条文があるかどうかを確認。

確認方法 1

- **出版契約, 著作権譲渡契約で確認**
 - 出版契約 (publishing agreement)
 - 著作権譲渡契約 (Copyright Transfer Agreement, CTA)

※共著論文の場合, 責任著者
(corresponding author) が契約書に
サインすることも



参考資料 : 「Springer社の著作権譲渡契約書を読もう」 もご参照ください。

確認方法 2

- **学協会著作権ポリシーデータベース (SCPJ)**

- <http://scpj.tulips.tsukuba.ac.jp/>

- **SHERPA/RoMEO**

- <http://www.sherpa.ac.uk/romeo/index.php>

**1 または 2 の方法で確認した結果を,
指導教員と相談する**

その他,「やむを得ない事由」

- 特許申請を行う
- 個人情報保護法の観点から問題がある
- 立体形状による表現を含んでいる...等

いずれも個人の判断ではなく,当該研究科の
審査を仰ぐこととなります

論文公表に関する参考資料

- 1. 京都大学各研究科の博士学位申請手続き

- 2. 博士論文と著作権（東京大学）



http://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/01_thesesandcopyrights.pdf

- 3. 博士論文のインターネット公表：大学院生・指導教員のためのガイド（デジタルリポジトリ連合）

<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?plugin=attach&refer=onlineworkshop2014&openfile=group2-3.doc>



わからないこと・ご相談

- 皆様のオープンアクセスを支援します。

附属図書館

学術支援課 学術支援掛

mail:repository@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

北部構内

教務・図書課 共通図書掛

mail:a60lib@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

